

未来に羽ばたく夢と希望のある
健康な郷土 まち A Healthy Community Full of Dreams and Hope,
Taking Flight into the Future

第6次 山ノ内町総合計画

後期基本計画 ジュニア版 The 6th Yamanouchi Town Comprehensive Plan
Second Half Basic Plan - Junior Edition

2026▶2030

小学校

年 組 氏名

GOAL 01 まちの 将来像

Future Vision of Our Community

未来に羽ばたく 夢と希望のある 健康な郷土

A Healthy Community Full of
Dreams and Hope, Taking Flight
into the Future

本町は、恵まれた豊かな大自然と、その恩恵を受けて「観光と農業」「生命と暮らし」をテーマに発展してきました。自然豊かな郷土は、先人たちが守り、育て、伝えてきたかけがえのない財産であり、次世代に引き継いでいくことで、郷土に自信と誇りを持ち、一人ひとりが夢と希望をもって未来に羽ばたく礎となります。

私たちの郷土の観光や農業の振興、生命と暮らしを守り、にぎわいの創出に向けて、新しい発想で取り組む原動力が大切です。

未来に羽ばたくこともたちへ“夢と希望のある郷土”を育むため、町民や企業、行政が互いに絆を大切に、地域の自主性と自立性、独自性を発揮しながら、新しい郷土愛・魅力あふれる“健康な郷土”の更なる創造を目指します。

Yamanouchi town

山ノ内町

目標
GOALS

まちの将来像・目標人口・基本目標

GOAL 03 まちづくりの 基本目標

Basic Goals of Our Community

町の将来像「未来に羽ばたく 夢と希望のある 健康な郷土」の実現に向けて取り組む、まちづくりの基本目標(まちづくりの5本の柱)を次のとおり定めます。また、横断的な取り組みとして、新たな要素を追加しました。

基本目標

1



ひとがつながく、魅力あふれる産業と交流の郷土

基本目標

2



いきいきと暮らす、元気が満ちる健康な郷土

基本目標

3



未来に羽ばたく、豊かな文化と学びの郷土

基本目標

4



自然と生きる、暮らしの希望を叶える安全な郷土

基本目標

5



みんなが活躍する、絆の力で地域が活きる郷土

2030年の目標人口 10,500人

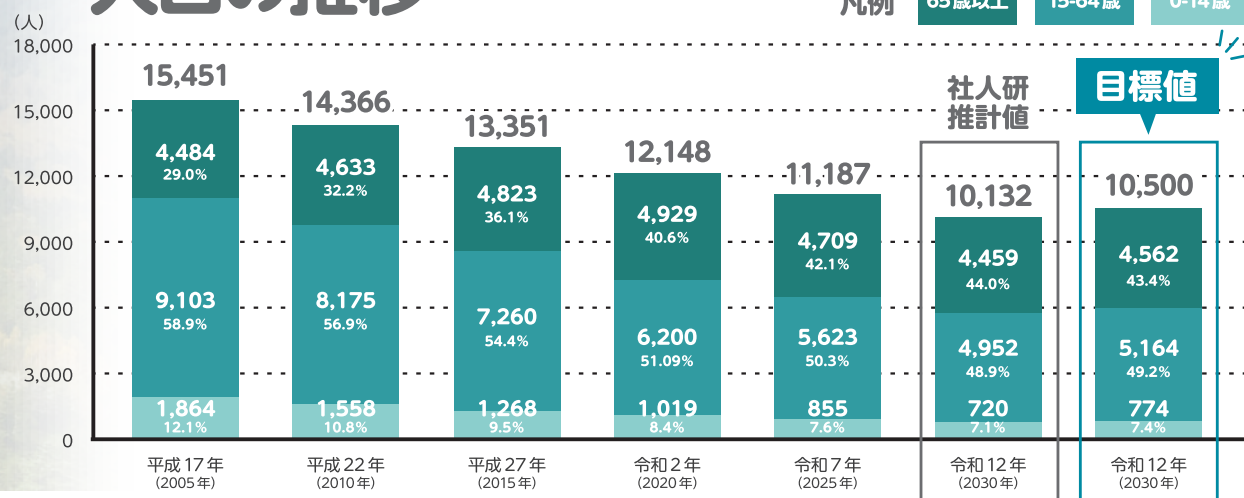
令和7年(2025)年4月現在のデータに基づき、改めて将来人口について長期的な推計・検討を行いました。その結果、令和12年(2030)年の目指すべき推計値を10,413人と算定し、目標年(令和12年(2030)年)の人口を、第6次町総合計画前期基本計画で設定した数値10,500人とします。

人口の推移

Population Trends

凡例

65歳以上 15-64歳 0-14歳



横断的取り組み

- DXの推進
- 稼げる
- 若者・外国人から選ばれる
- 脱炭素社会の実現
- 人口減少・少子高齢化の緩和

産業・交流・移住定住

保健・医療・福祉

教育・文化・スポーツ

都市基盤・自然環境・
生活環境・防災

協働・行財政・人権

未来に
羽ばたく
夢と希望
のある
健康な
郷土
まち

04 まちづくりの課題

Community Development Issues

人口減少・ 少子高齢化の進行

- 結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり。
- 町外流出を抑え、安心して住み続けられる魅力を向上。
- 地域を支える「働き手」不足の解消。

環境問題と 脱炭素社会の実現

- 激甚化する自然災害に備え、避難体制やインフラを強化。
- 2050年カーボンニュートラルに向け、脱炭素社会を推進。
- 豊かな自然環境と温泉資源を次世代へ守り継ぐ。

若者に「選ばれる」 まちづくり

- 国内外から「住みたい」「訪れたい」と選ばれるまちづくり。
- 外国人材を受け入れ、多様性を尊重し合える地域づくり。

グローバル経済と 稼げる力を育む まちづくり

- 観光資源を活かした、国際水準の受入環境づくり。
- 体験型コンテンツやブランド化を推進し、地域全体の「稼ぐ力」を強化。

デジタル社会の 実現とDXの推進

- デジタル技術を活用した、人手不足解消、効率化の推進。
- 行政手続きや高齢者へのデジタル支援で、誰もが恩恵を受ける社会づくり。

持続可能な 社会の実現に向けた 取り組み

- 「誰一人取り残さない」理念のもと、経済・社会・環境の課題解決。
- 17の目標を指針に、住民と共に持続可能な地域社会づくり。

数値目標

Numerical Targets

指標名	基準値 (R6年)	目標値 (R12年)	備考
観光入込数	415万人	450万人	町調査
新規就農者数	59人	60人	5年間累計

まちづくりの目標

Community Development Goals

豊かな自然や観光、農業などの地域の魅力を活かして産業を元気にし、多くの人を訪れたいとなるまちを目指します。また、多様な働き方に対応した仕事づくりを進め、移住・定住を後押しします。さらに、友好都市との交流を深め、人と人とのつながりを広げていきます。

取り組み内容

Key Initiatives

1. 観光

自然と文化を守りながら、外国人向けの体験メニューを充実させ、世界に発信する観光地づくり。

2. 農業・林業・商工業

農業・林業・商工業を発展させ、地域の人が安定して働き、暮らしやすい産業のまちをつくる。

3. 国際交流・移住定住

他の市町村や国との交流を深め、新しい人間関係を作り、移住定住を進めるまちづくり。

目標を達成するにはどんな取り組みが必要かな？

考えを書いてみよう！

●

●

●

数値
目標

Numerical Targets

指標名	基準値 (H30～R4)	目標値 (R5～R9)	備考
合計特殊出生率	1.39人	1.42人	人口動態保健所 ・市町村別統計 (厚生労働省)

まちづくりの目標

Community Development Goals

こどもから高齢者まで、みんなが健康で元気に暮らし、お互いに支え合えるまちを目指します。また、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、保健・医療・福祉の充実に取り組みます。

取り組み内容

Key Initiatives

1. 子育て・児童福祉

親子が安心して子育てでき、すべてのこどもが大切にされ、地域全体で見守るまちをつくる。

2. 健康・医療

町民が心身ともに健康で、医療を受けやすく、長く安心して暮らせるまちをつくる。

3. 福祉

高齢者、障がい者、困っている人が、地域の人に支えられ、安心して暮らせるまちをつくる。

目標を達成するにはどんな取り組みが必要かな？



考えを書いてみよう！

•

•

•



数値目標

Numerical Targets

指標名

基準値 (R6年)

目標値 (R12年)

生涯学習への参加者延人数

2,807人

2,900人

まちづくりの目標

Community Development Goals

こどもから大人まで、誰もが学びやスポーツに親しみながら成長し、生きがいをもって暮らせるまちを目指します。また、地域の文化や伝統を大切に守り、次の世代へ受け継ぐとともに、夢や目標に向かって学び続けられる環境づくりを進めます。

取り組み内容

Key Initiatives

1. 学校・青少年の育成

こども一人ひとりがワクワクを育み、安心して自分らしく学べるまちをつくる。

2. 生涯学習・スポーツ活動

誰もが参加し、共に学び、スポーツや文化を楽しんで豊かな人生を送るまちをつくる。

3. 伝統・文化

伝統や資源を町民と共に守り、文化財を大切に未来への継承を実現するまちをつくる。



目標を達成するにはどんな取り組みが必要かな？

考えを書いてみよう！

•

•

•

数値
目標

Numerical Targets

指標名

基準値 (R6年)

目標値 (R12年)

備考

社会移動 (転入-転出)

65人

70人

住民基本台帳

まちづくりの目標

Community Development Goals

豊かな自然や美しい景観を守り、住む人も訪れる人も魅力を感じられるまちを目指します。また、環境にやさしい取り組みを進めるとともに、災害や犯罪に備え、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

取り組み内容

Key Initiatives

1. 住宅・交通・水道・公園

自然と調和した土地利用で、みんなが快適に暮らせる住環境と交通網を整備するまち。

2. 景観・環境・衛生

ユネスコエコパークの理念で自然と文化を守り、環境に優しい循環型社会を実現するまち。

3. 地域安全

交通安全と防犯対策を強化し、消費者トラブルから守り、安心して暮らせるまち。

4. 防災

災害から町民を守り、地域が一体となって安全で安心な環境を作るまち。

目標を達成するにはどんな取り組みが必要かな？



考えを書いてみよう！

•

•

•

数値
目標

Numerical Targets

指標名

基準値 (R6年)

目標値 (R12年)

備考

山ノ内町に住みたい人の割合

64.0%

70.0%

まちづくり
アンケート調査

まちづくりの目標

Community Development Goals

みんなで支え合い、協力しながら、一人ひとりがまちづくりに参加できるまちを目指します。また、限られた資源を大切に活用し、より良い行政サービスを続けることで、将来にわたって安心して暮らせる地域づくりを進めます。

取り組み内容

Key Initiatives

1. コミュニティ・町民参加

町民と行政が力を合わせ、情報を共有し、一緒に町の課題を解決するまちをつくる。

2. 行政

デジタル化を進め、効率的な行政運営で、これからも続く持続可能なまちをつくる。

3. 人権

人権を大切にし、多様性を尊重し、周辺市町村と協力して課題を解決するまち。

目標を達成するにはどんな取り組みが必要かな？

考えを書いてみよう！

•

•

•

PLAN 01 計画策定の趣旨

Purpose of the Plan

山ノ内町総合計画は、山ノ内町に暮らすみんなが将来にわたって安心して生活し、夢や希望を持って暮らし続けられるまちをつくるための道しるべです。

令和3年度(2021年度)から令和12年度(2030年度)までの“まちづくり目標”として、「未来に羽ばたく夢と希望のある健康な郷土」を掲げています。これまでの5年間は、新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの暮らしや学校生活、働き方などが大きく変わりました。また、人口減少や少子高齢化が進むなど、山ノ内町を取り巻く環境も変化しています。

これからの5年間は、これまでの取り組みを進めながら、人口減少や少子高齢化などの課題に取り組むとともに、地球環境にやさしいまち、若者・外国の人にも選ばれるまち、地域の仕事や産業が元気なまち、デジタル技術(パソコンやインターネットなど)を活用した便利で暮らしやすいまちを目指します。



PLAN 02 計画の構成

Structure of the Plan

- 第6次山ノ内町総合計画は、「基本構想」「基本計画」及び「実施計画」をもって構成します。

基本構想

町が目指す将来像と実現するための基本方針、施策の大綱を示すものです。

基本計画 総合戦略

基本構想で実現するための具体的な施策を示すものです。

基本計画で定めた施策の方向性や目標値を体系的に示す計画で、人口減少・少子高齢化対策を重点に施策展開を進めます。

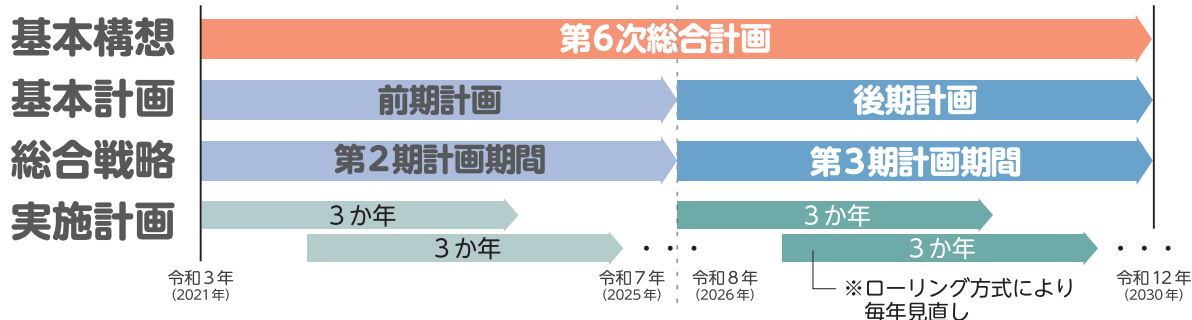
実施計画

基本計画で定めた施策を計画的かつ効率的に実施するための事業計画で、予算編成の指針となるものです。

PLAN 03 計画の期間

Plan Period

第6次山ノ内町後期総合計画は、令和8(2026)年度から令和12(2030)年度までの5年間の計画です。



持続可能な社会の実現に向けた取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



資料：国連広報センター

平成 25(2013)年 9 月に国連で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」において、持続可能な開発目標 (SDGs) は、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、17 の目標と、各目標を実現するための 169 のターゲット (達成基準) を掲げています。

経済・社会・環境をめぐる広範な課題を統合的に解決することを目指し、SDGs 達成に向けた取り組みが先進国・開発途上国を問わず始まっています。

日本国内の SDGs 達成に向けた取り組みとして、国が定めた「持続可能な開発目標 (SDGs) 実施指針」(2016 年)において、地方自治体の各種計画に SDGs の要素を最大限反映することを推奨しています。

本町でも町民への普及啓発や地域の課題解決を通じて取り組んできました。後期基本計画では、引き続き SDGs の目標達成に向けた取り組みを実践します。

山ノ内町の基本目標とSDGs

基本目標 1 ひとがつなぐ、魅力あふれる産業と交流の郷土 産業・交流・移住定住	▶	
基本目標 2 いきいきと暮らす、元気が満ちる健康な郷土 保健・医療・福祉	▶	
基本目標 3 未来に羽ばたく、豊かな文化と学びの郷土 教育・文化・スポーツ	▶	
基本目標 4 自然と生きる、暮らしの希望を叶える安全な郷土 都市基盤・自然環境・生活環境・防災	▶	
基本目標 5 みんなが活躍する、絆の力で地域が活きる郷土 協働・行財政・人権	▶	



第6次山ノ内町総合計画後期基本計画ジュニア版

発 行 令和8年(2026年) 3月

発行者 山ノ内町

〒381-0498長野県下高井郡山ノ内町大字平穩3352-1

TEL : 0269-33-3111 FAX : 0269-33-4527

URL : <https://www.town.yamanouchi.nagano.jp>

編 集 未来創造課

